

2010年3月期
第2四半期累計期間

決算説明会

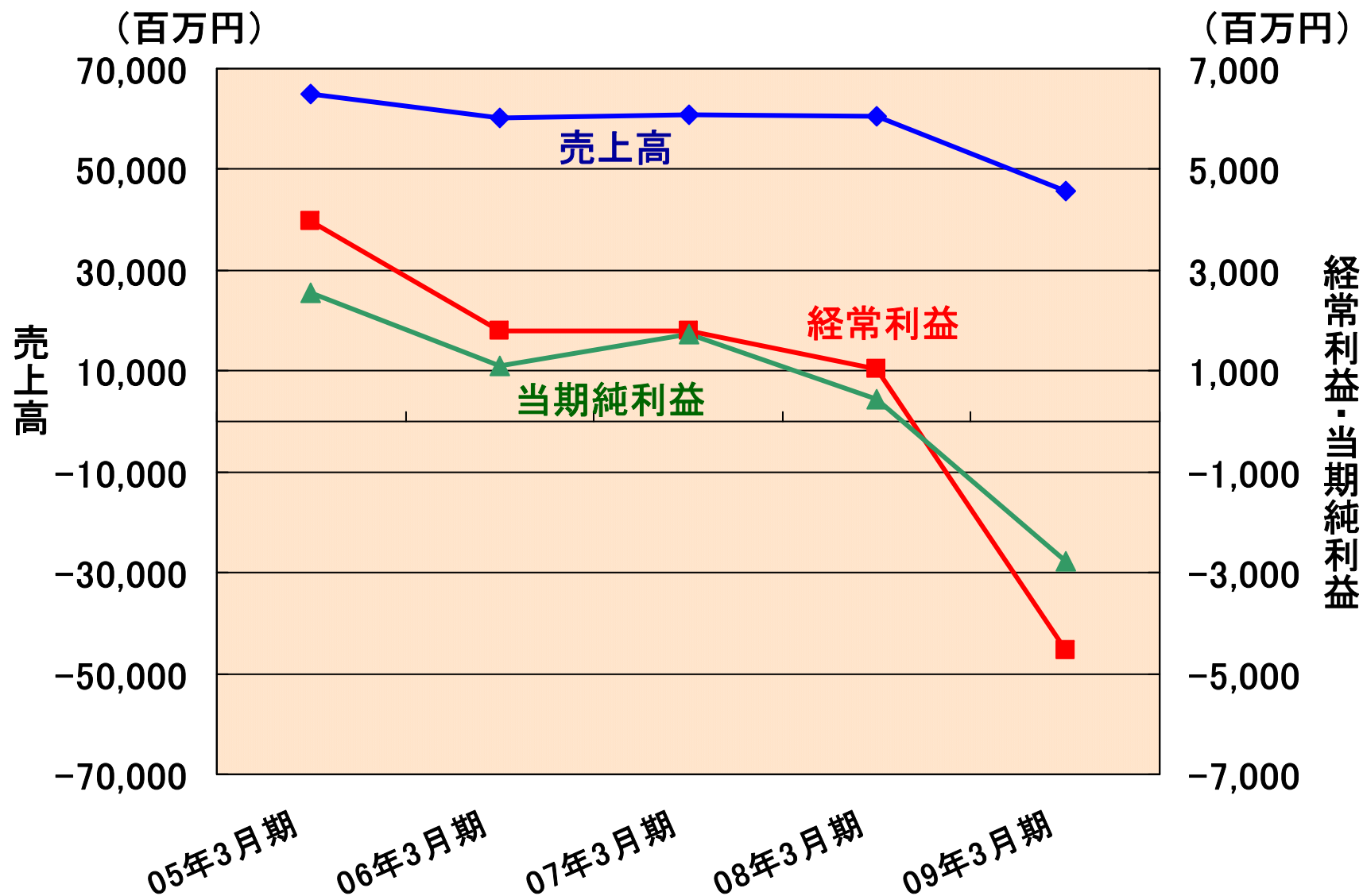


新日本無線株式會社

2009年11月13日

I . 期初計画立案の背景

業績推移(連結)



09年3月期 費用削減実績(連結)



(単位：百万円)

	08年3月期	09年3月期	削減額	削減率
人件費	22,098	20,047	2,051	9.3%
経費	10,983	9,017	1,966	17.9%
減価償却費	4,734	4,488	246	5.2%
研究開発費	6,098	5,833	265	4.3%
設備投資	4,173	2,459	1,714	41.1%

業績の回復

- ・販売力の強化
- ・新製品開発力の強化
- ・コストダウン

品質の維持向上

地球環境への可能な限りの配慮

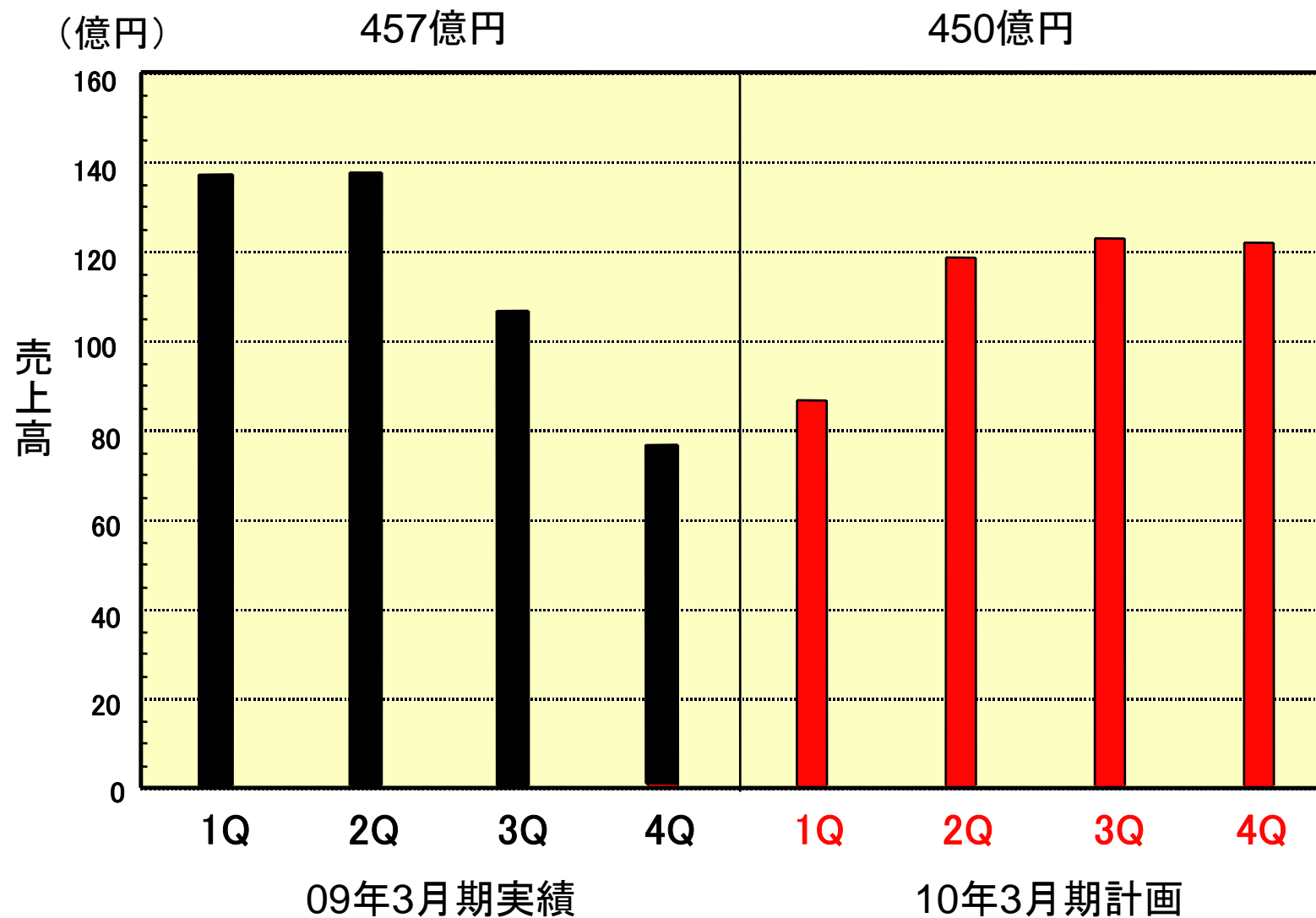
10年3月期 費用削減計画(連結)



(単位：百万円)

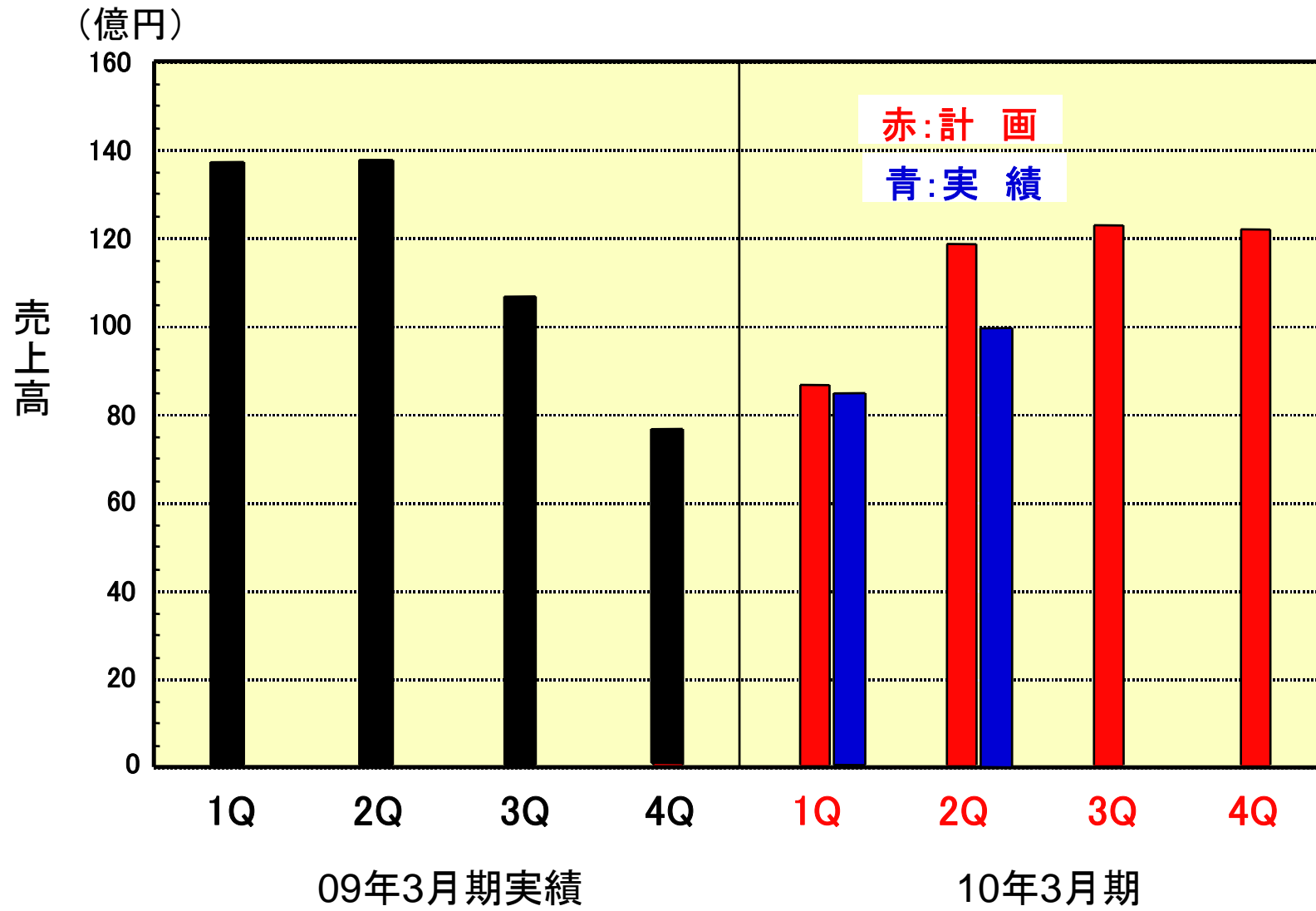
	09年3月期	10年3月期 (期初計画)	削減額	削減率
人件費	20,047	16,944	3,103	15.5%
経費	9,017	8,365	652	7.2%
減価償却費	4,488	3,722	766	17.1%
研究開発費	5,833	4,716	1,117	19.2%
設備投資	2,459	1,288	1,171	47.6%

四半期売上高計画(連結)



Ⅱ . 2010年3月期 第2四半期累計期間 決算について

四半期売上高実績(連結)



売上高(第2四半期累計・計画比)



(単位：百万円)

売上高	計画	実績	増減額	達成率
マイクロ波管	1,260	1,141	△ 119	90.6%
マイクロ波応用	1,390	1,085	△ 305	78.1%
半導体 計	17,850	16,459	△ 1,391	92.2%
半導体デバイス	2,880	2,614	△ 266	90.8%
バイポーラ	11,870	11,030	△ 840	92.9%
MOS	3,100	2,814	△ 286	90.8%
売上高 合計	20,500	18,685	△ 1,815	91.1%

業績(第2四半期累計・計画比)



(単位：百万円)

	連 結			
	計画	実績	差異	増減率
売上高	20,500	18,685	△ 1,815	△ 8.9%
営業利益	△ 1,050	△ 2,666	△ 1,616	—
経常利益	△ 1,150	△ 2,925	△ 1,775	—
税引前利益	△ 1,200	△ 2,926	△ 1,726	—
当期純利益	△ 730	△ 9,444	△ 8,714	—

上期実績 サマリー



- 売上高が計画未達成となり営業損失拡大
- 繰延税金資産の取崩しで純損失拡大
- 中間配当見送り

1株当たり配当金

	08年3月期	09年3月期	10年3月期
中間	6円	6円	0円
期末	6円	2円	未定
年間	12円	8円	未定

- 繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、取崩し(P/L 法人税等調整額 6,493百万円)
- 自己資本比率 '09/3末 40.6%
→ '09/9末 28.3%(Δ 12.3%)

「みずほコーポレート銀行」をアレンジャーとする
シンジケートローン組成による資金調達実施
(2009年9月末)

◇シンジケートによる
既存短期借入金100億円の長期化

◇コミットメントラインの設定 極度50億円

第2四半期末 貸借対照表

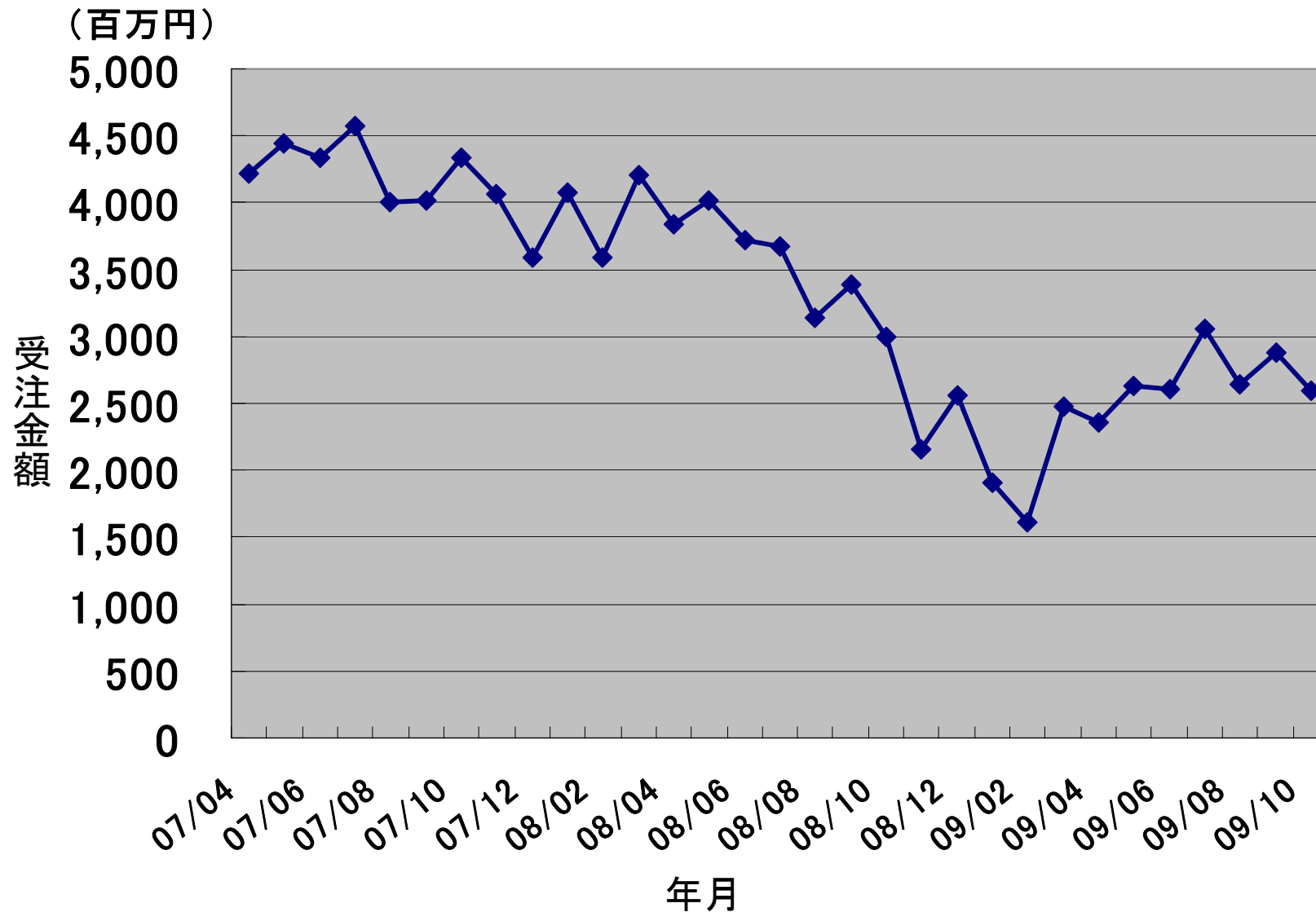


(単位：百万円)

	09年3月	09年9月	増 減
資産 計	52,462	42,087	△ 10,375
流動資産	31,158	27,856	△ 3,302
(うち現預金)	5,318	2,510	△ 2,808
(うち棚卸資産)	15,720	14,276	△ 1,444
固定資産	21,303	14,230	△ 7,073
(うち繰延税金資産)	5,863	28	△ 5,835
負債 計	31,145	30,179	△ 966
流動負債	20,755	10,077	△ 10,678
固定負債	10,390	20,102	9,712
純資産 計	21,316	11,907	△ 9,409

Ⅲ. 2010年3月期 下期・通期計画について

月度受注の推移(単体)



費用削減実績(第2四半期累計・計画比)



(単位：百万円)

	期初計画	実績	差異
人件費	8,492	8,247	△ 245
経費	4,260	3,419	△ 841
減価償却費	1,755	1,702	△ 53
研究開発費	2,362	2,184	△ 178
設備投資	602	143	△ 459

- 受注と売上高は底を打ったが
本格回復は見込めず
- 下期は僅かながら黒字の計画
- 円高に対応
1US\$ = ¥90
(期初の¥95を見直し)

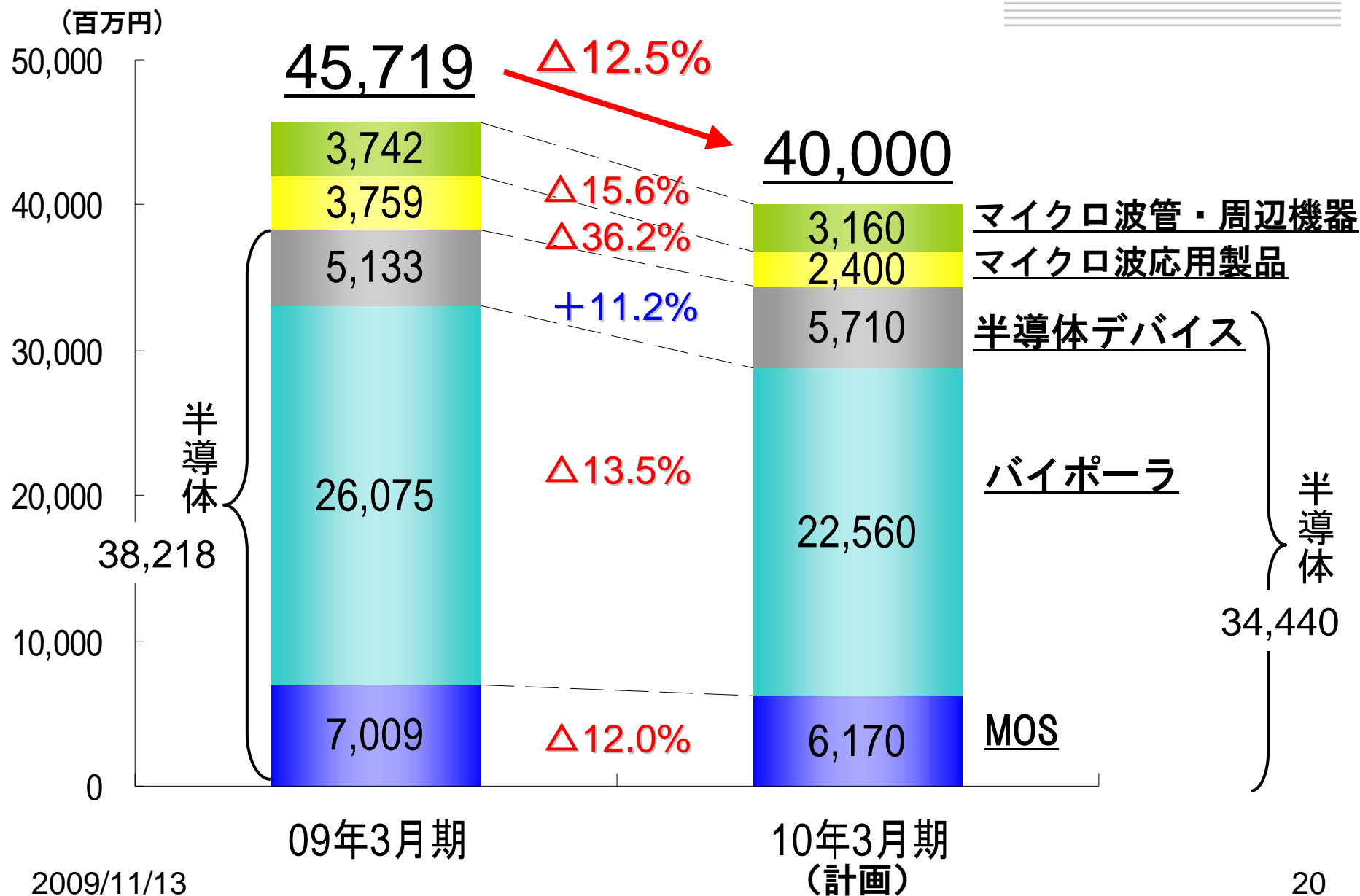
10年3月期 下期計画



(単位：百万円)

	連 結				
	08年下期 実績	09年上期 実績	09年下期 計画	対08年 下期差異	対09年 上期差異
売上高	18,274	18,685	21,314	+3,040	+2,629
営業利益	△ 3,163	△ 2,666	566	+3,729	+3,232
経常利益	△ 3,398	△ 2,925	425	+3,823	+3,350
税引前利益	△ 3,427	△ 2,926	27	+3,454	+2,953
当期純利益	△ 1,998	△ 9,444	45	+2,043	+9,489

連結売上計画(通期)



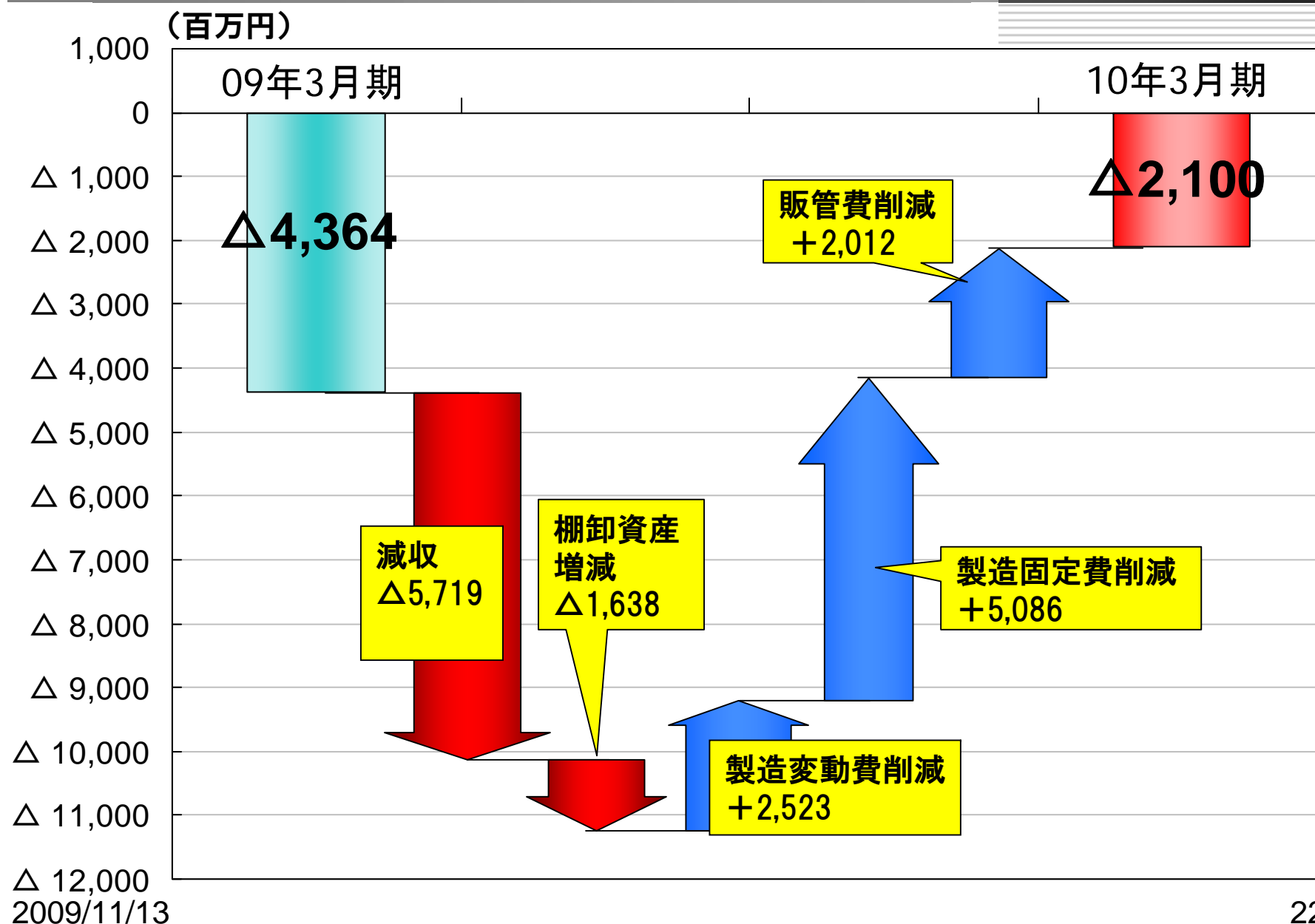
10年3月期 通期計画(前期比)



(単位：百万円)

	連 結			
	09年3月期 実績	上期実績+ 下期計画	差異	増減率
売上高	45,719	40,000	△ 5,719	△ 12.5%
営業利益	△ 4,364	△ 2,100	+2,264	—
経常利益	△ 4,531	△ 2,500	+2,031	—
税引前利益	△ 4,594	△ 2,900	+1,694	—
当期純利益	△ 2,781	△ 9,400	△ 6,619	—

営業損益(連結)計画の分析(通期)



人件費削減

- ・賃金、賞与のさらなる削減
- ・準社員の希望退職の募集
(派遣社員は期間満了による契約終了を実施済)

費用削減の徹底

- ・出張旅費、物品購入など、
全ての出金を役員決裁化

費用削減計画の状況(10年3月期・前期比)



(単位：百万円)

	09年3月期	10年3月期 (実績+計画)	差異	削減率
人件費	20,047	16,311	△3,736	18.6%
経費	9,017	7,012	△2,005	22.2%
減価償却費	4,488	3,550	△938	20.9%
研究開発費	5,833	4,400	△1,433	24.6%
設備投資	2,459	870	△1,589	64.6%

費用削減計画の状況(10年3月期・計画比)



(単位：百万円)

	期初計画	実績+計画	差異
人件費	16,944	16,311	△633
経費	8,365	7,012	△1,353
減価償却費	3,722	3,550	△172
研究開発費	4,716	4,400	△316
設備投資	1,288	870	△418

IV. 販売強化策について

特別販売戦略チーム活動(3S'09)

- 国内特別拡販チーム
 - ・ 部門横断精鋭チーム
 - ・ PC/PC周辺、白物家電をターゲット
- 中国販売戦略チーム
 - ・ 中国3Gモバイル市場への拡販
- 環境対応車拡販チーム

上期活動成果:

計画外で1,341百万円の販売上積み

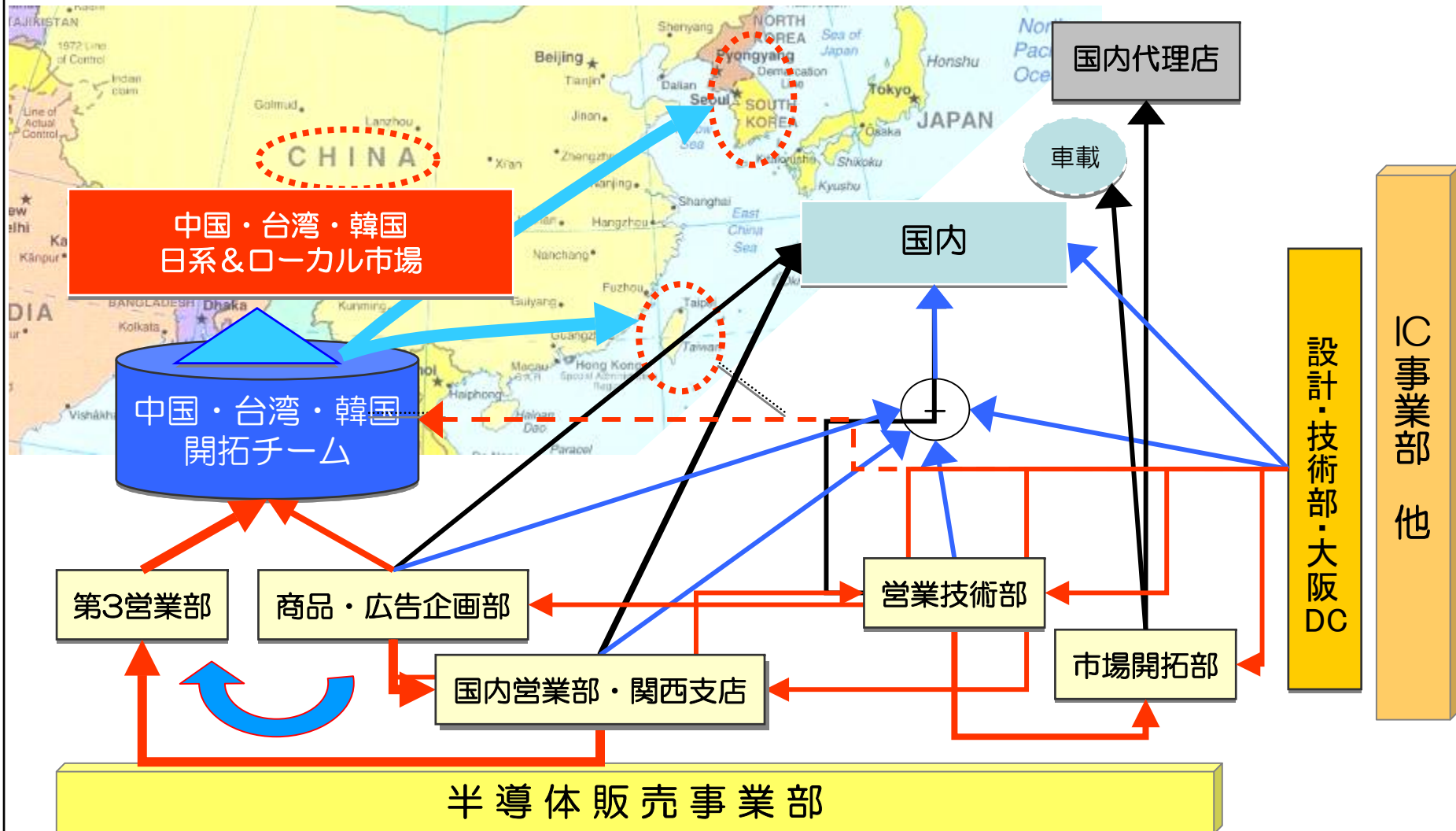
特別販売戦略チーム活動(3S'09)

- 東アジア地域拡販活動
 - 中国販売戦略チーム
 - 中国3Gモバイル市場への拡販継続
 - ローカルメーカーへの拡販戦略
 - 短期的な販売人員集中
 - 韓国・台湾の高シェアメーカーへの拡販
- 環境対応車への集中拡販
 - 有力国内メーカーへの集中拡販
- インターネット活用度向上

拡販策(3)



・営業要員の再配置(30名強)と東アジア市場開拓



営業／FAEのペアで現地密着活動

- NJR上海 / Array ローカルFAE採用
- シンセン / 台湾 / 韓国 / NJR上海に長期出張
各代理店に1ヶ月程度派遣

ターゲットアプリケーション

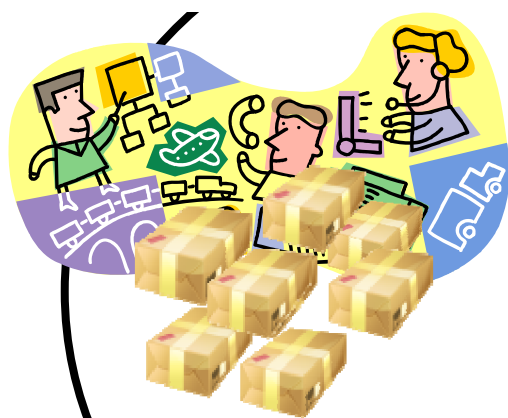
- 自動車産業
 - ✓ ECU
 - ✓ カーオーディオ・カーナビ
- 電子情報産業
 - ✓ データ通信カード
 - ✓ 携帯電話
 - ✓ ネットブックPC
 - ✓ LED照明関連
 - ✓ 太陽光発電関連
 - ✓ 新型 ディスプレイ関連

拡販策(5)



Websiteの改善

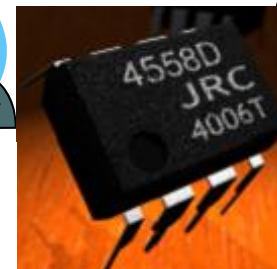
小口販売の強化



海外ユーザの取り込み拡大



中国人エンジニアの
検索キーワード



オペアンプ = 4558 = JRC4558
(NJM4558)

・Web戦略（汎用品拡販のグローバル戦略）

半導体ウェブサイトの強化：

グローバルな顧客/マス・マーケット

- 世界に通用する当社汎用品は、検索機会が高い
- Webで製品を物色する技術者、営業マンと会いたくない技術者

NJRC認知を狙う

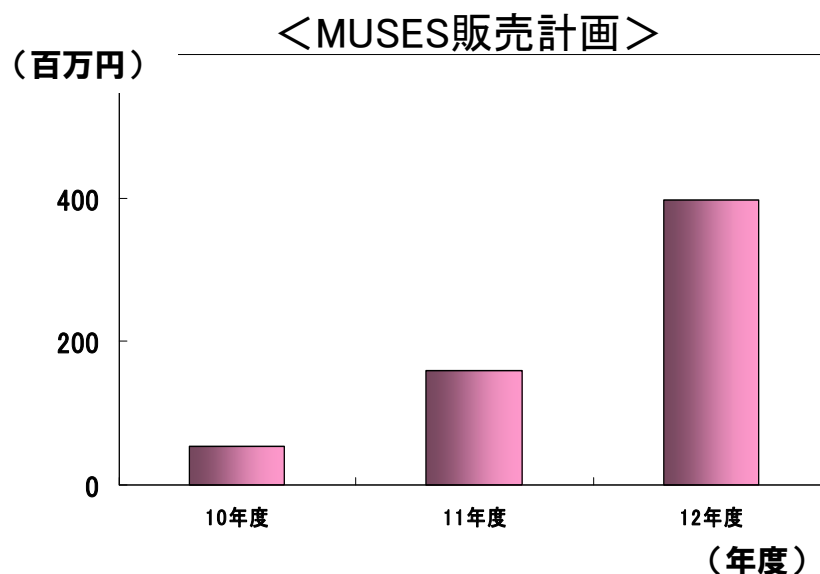
- ブランド：JRC4558、MUSES、…

製品・サービスのラインナップ（ほしいときに、ほしい情報）

- 200点超の品揃え、ネット小口販売、サンプル提供
- 製品サーチ、アプリケーション、言語対応：英語・中国語

ハイエンドオーディオ機器向けオペアンプ

回路設計技術、パターンレイアウト、
パッケージ組立て用材料および組立
て手法などの高音質ノウハウを結集



販売先

- ・カーオーディオ
- ・AVレシーバー
- ・BDプレーヤー
- ・各種ハイエンド機器

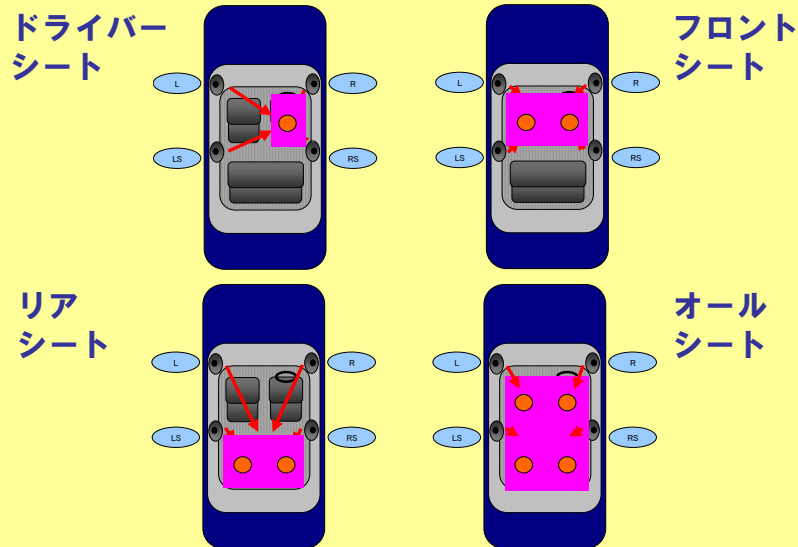
オリジナル カーサラウンド用DSP

- ◆ステレオ音源入力を4スピーカーで聞くカーオーディオが主流
- ◆ステレオ入力→4チャンネル出力でオリジナルカーサラウンドを実現
- ◆選択したシートポジションに、最適なカーサラウンド音場を創造

デモンストレーション用カー
実際の車で、音場作り



最適ポジションに調整可能



販売先

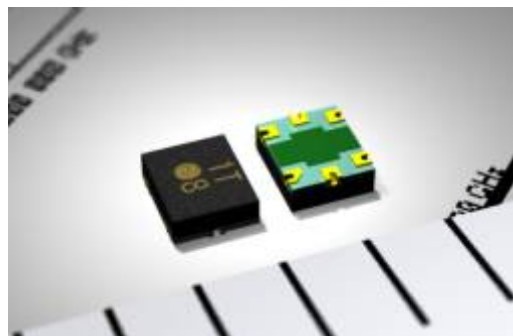
- ・カーオーディオ
- ・カーナビ

GaAs IC

高性能で広がるローノイズアンプ用途

小型薄型充実のラインナップ

- 3G携帯電話
- 広範囲に広がるGPSアプリケーション
- デジタルTV(モバイルからフラットTV)
- データ通信用(無線LANからWiMAX) 等



UMCJとの協業について(1)



・UMC Japanについて

Foundryメーカーとしては、TSMC社に続き世界第2位のUMC社(台湾)の子会社。
工場は千葉県館山市、0.16~0.35 μ m CMOSプロセス・8インチで、月産能力が約20,000枚/月。



所在地：千葉県館山市山本



クリーン
ルーム棟

守衛所

オフィス棟

UMCJとの協業について(2)



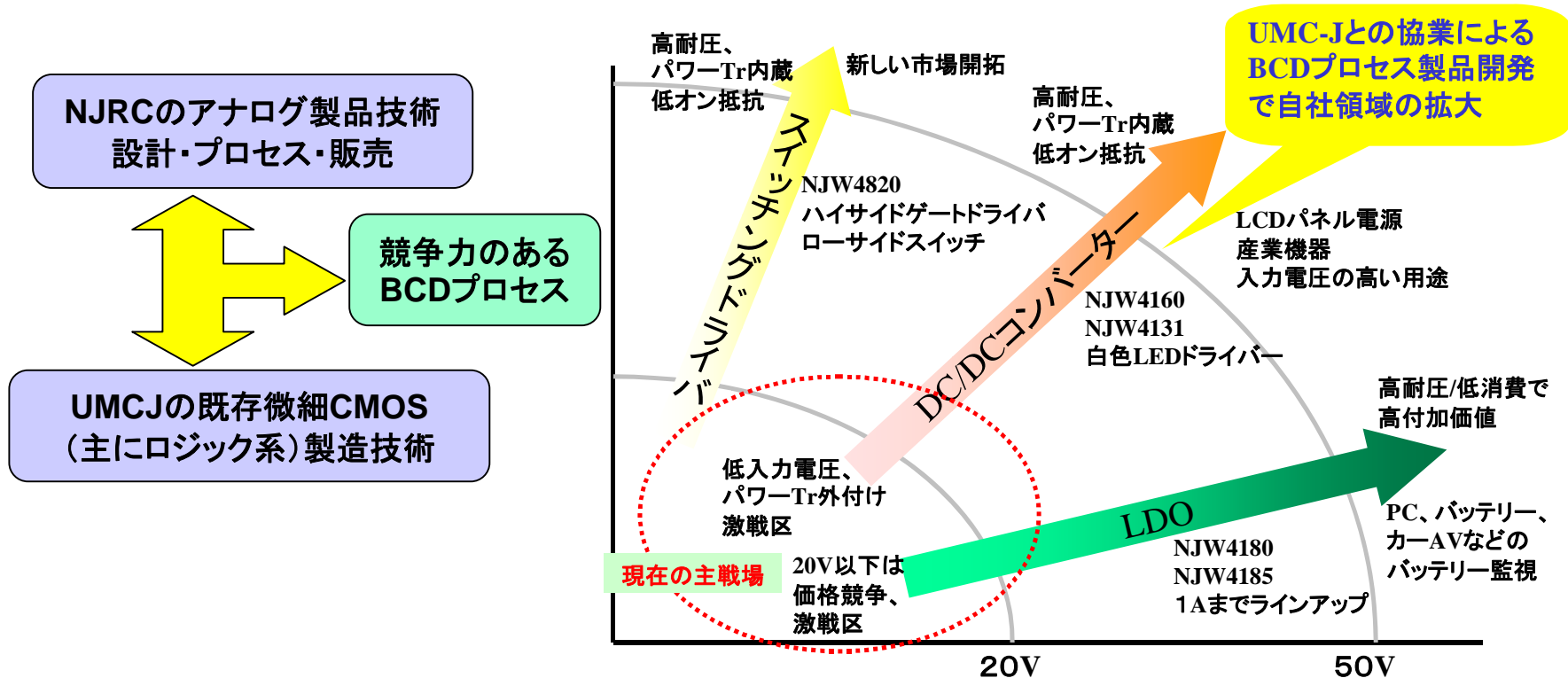
- UMCJの8インチ0.35ミクロンCMOSプロセスをベースに、
当社のBCDプロセスを移植
- 新日本無線は素子設計を、
UMCJはプロセス設計を担う
- このプロセスを用いてパワーデバイス、
オートモーティブ用ICを設計・量産・販売
- 将来は0.18ミクロンプロセスへの移行も視野に
- 当社の館山事務所を開設(2009年10月1日)

UMCJとの協業について(3)

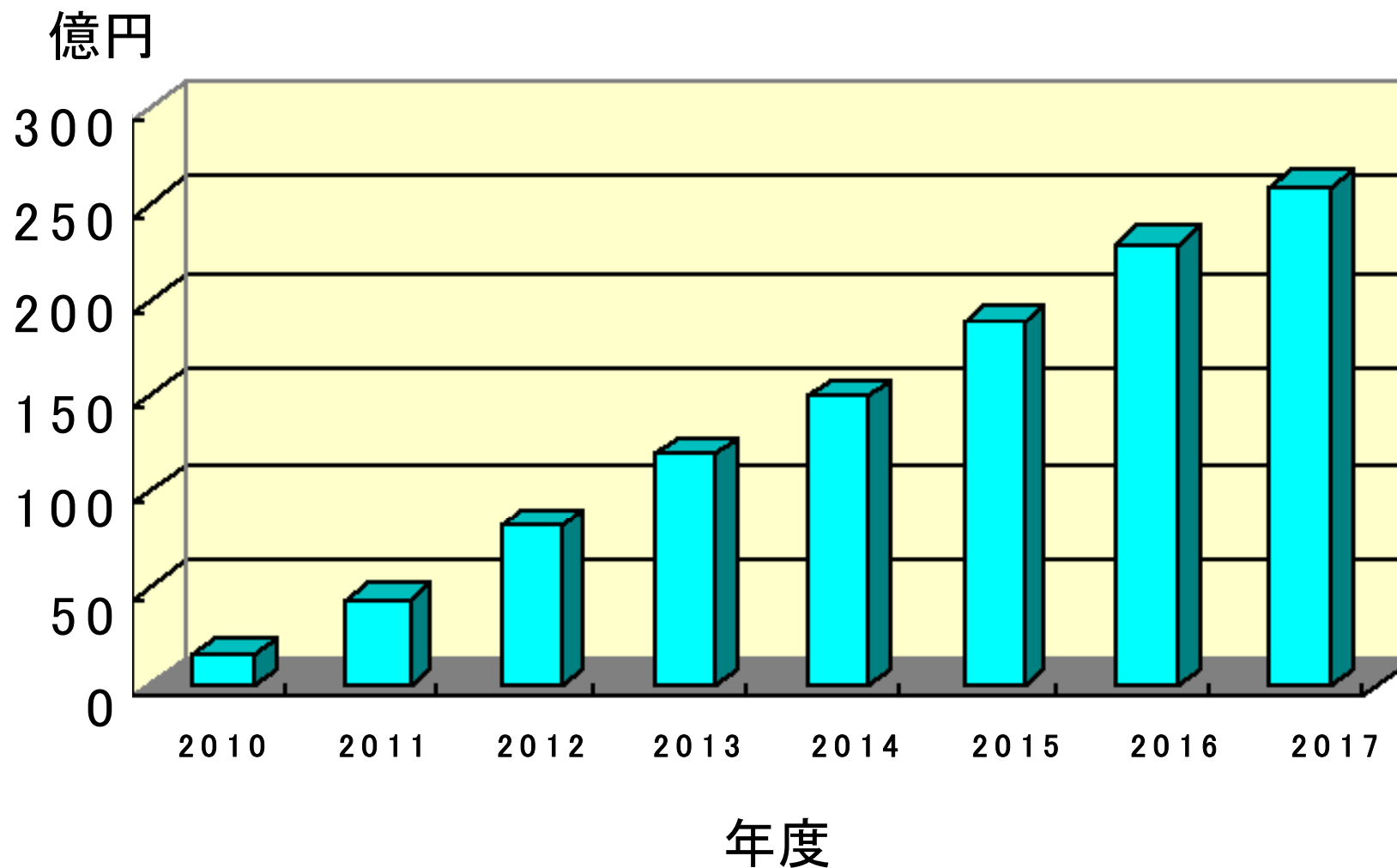


- 製品競争力の源泉となる新プロセス技術開発
 - UMCJ社との協業による8インチウェハ化と、高性能、高信頼性のBCD技術の開発・製造
- BCD技術を活用した高耐圧、汎用パワーICの開発

BCDプロセスによる高耐圧パワーIC開発を加速



UMCJとの協業開発製品の売上計画



レーダー市場に加え X線応用製品の開発、販売を加速

海外X線応用市場
ライナック用電子管・電子銃



電子銃



電子管

応用例



医療用ライナック



産業用ライナック

マイクロ波コンポーネント事業部の状況



☆マイクロ波センサーコンポーネント事業において K帯FM-CWレーダモジュールの応用展開進展

【特長】(従来の超音波/レーザ 距離センサーとの比較)

- ① 天候(風雨・霧・空気密度)による影響を受けにくい
- ② 対象物体の形状にかかわらず、安定した距離測定が可能
- ③ より長距離の測定が可能



(2009年3月3日 (株) 商船三井 様 プレスリリースより)

トランスファークレーン安全監視システム



(パル技研 様 カタログより)

高度侵入監視システム

V. 新デバイスの 研究開発について

- デジタル電源制御IC
- デジタルビデオデコーダ
- 微弱無線トランシーバIC
- MEMS(Micro Electro Mechanical Systems)
電子スイッチ/Siマイクロフォン
- ワイドバンドギャップ半導体デバイス
SiCデバイス/GaNデバイス

デジタル電源制御ICの開発

・デジタル電源のメリット

高速スイッチング制御
回路の簡素化
電圧と電流の同時制御
高速通信機能付加 等

・開発状況

08年度 基礎開発
09年度 量産立上げ



某部品メーカーと協業中

新デバイスの研究開発(2)

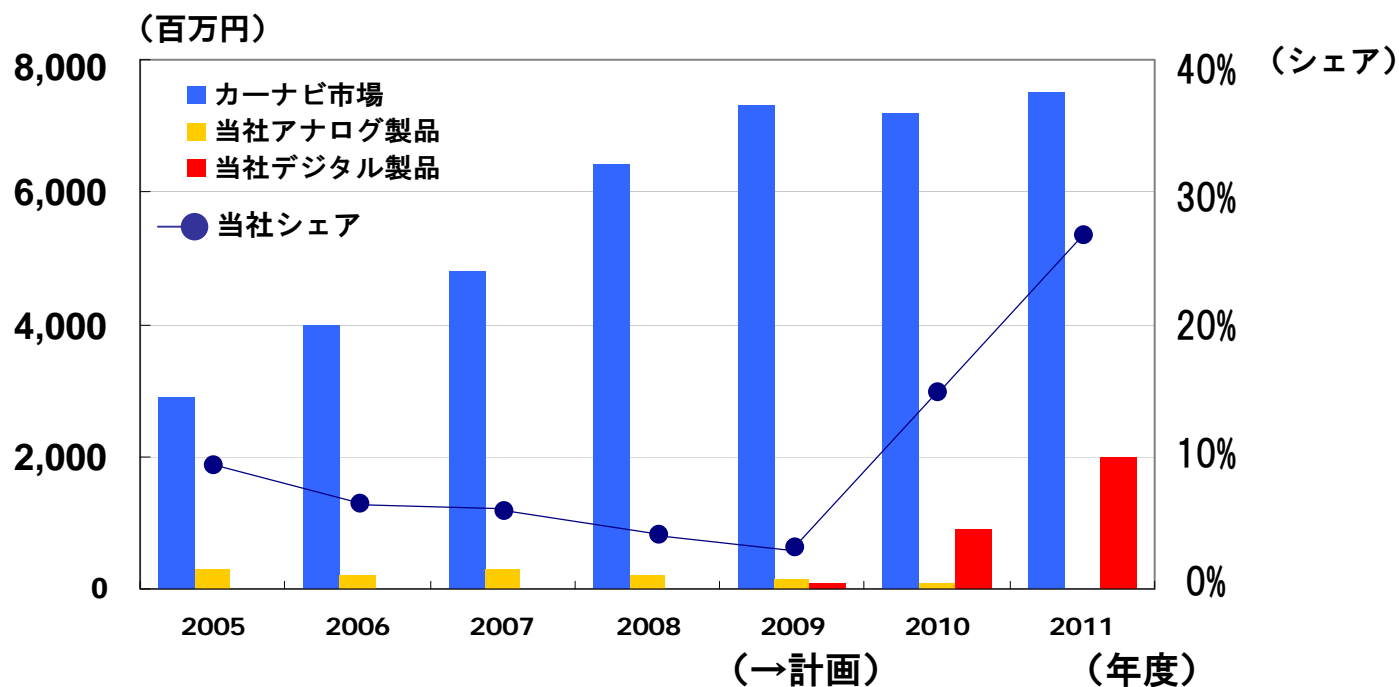


デジタルビデオデコーダの開発

アナログとデジタルの設計技術の融合

応用分野: 主にカーナビゲーション機器向け

開発目標: 2009年 サンプル提出開始 2010年 量産開始



某電機メーカーと協業中

新デバイスの研究開発(3)



微弱無線トランシーバIC (300MHz帯)

・応用分野

- ①携帯電話機やパソコンの盗難・紛失防止
- ②入退室、出退勤管理

・開発体制

大手モジュールメーカーと共同開発
(無線性能、システム性能の相互検証)

・スケジュール

2009年

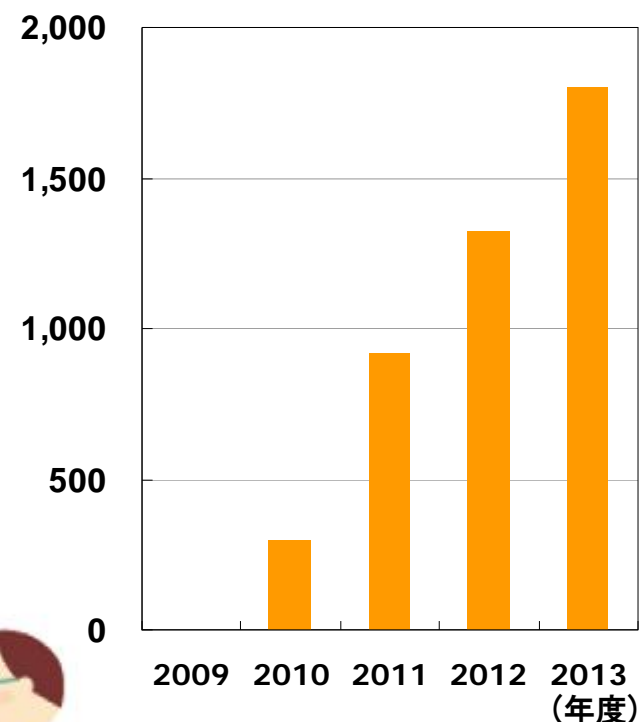
10月サンプル提出開始

2010年

量産開始

(百万円)

販売計画



<製品イメージ>



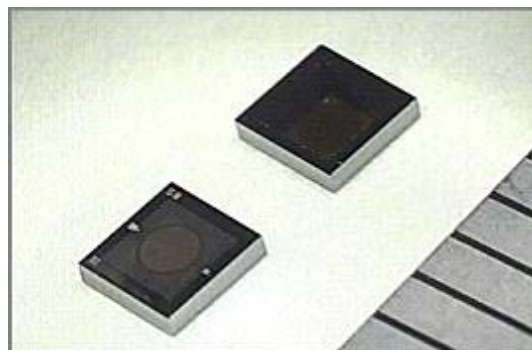
新デバイスの研究開発(4)



MEMS (Micro Electro Mechanical Systems)

開発中の デバイス	電子スイッチ	Siマイクロフォン
	誤動作のないスイッチ	より高性能を目指した マイクロフォン
応用分野	ビデオカメラ・デジカメ・ ゲーム機等	携帯電話機・パソコン・ ICレコーダ等
テストサンプル	2010年度	提出開始
プリプロ開始	2011年度	2010年度

<試作品(MEMSマイク)>



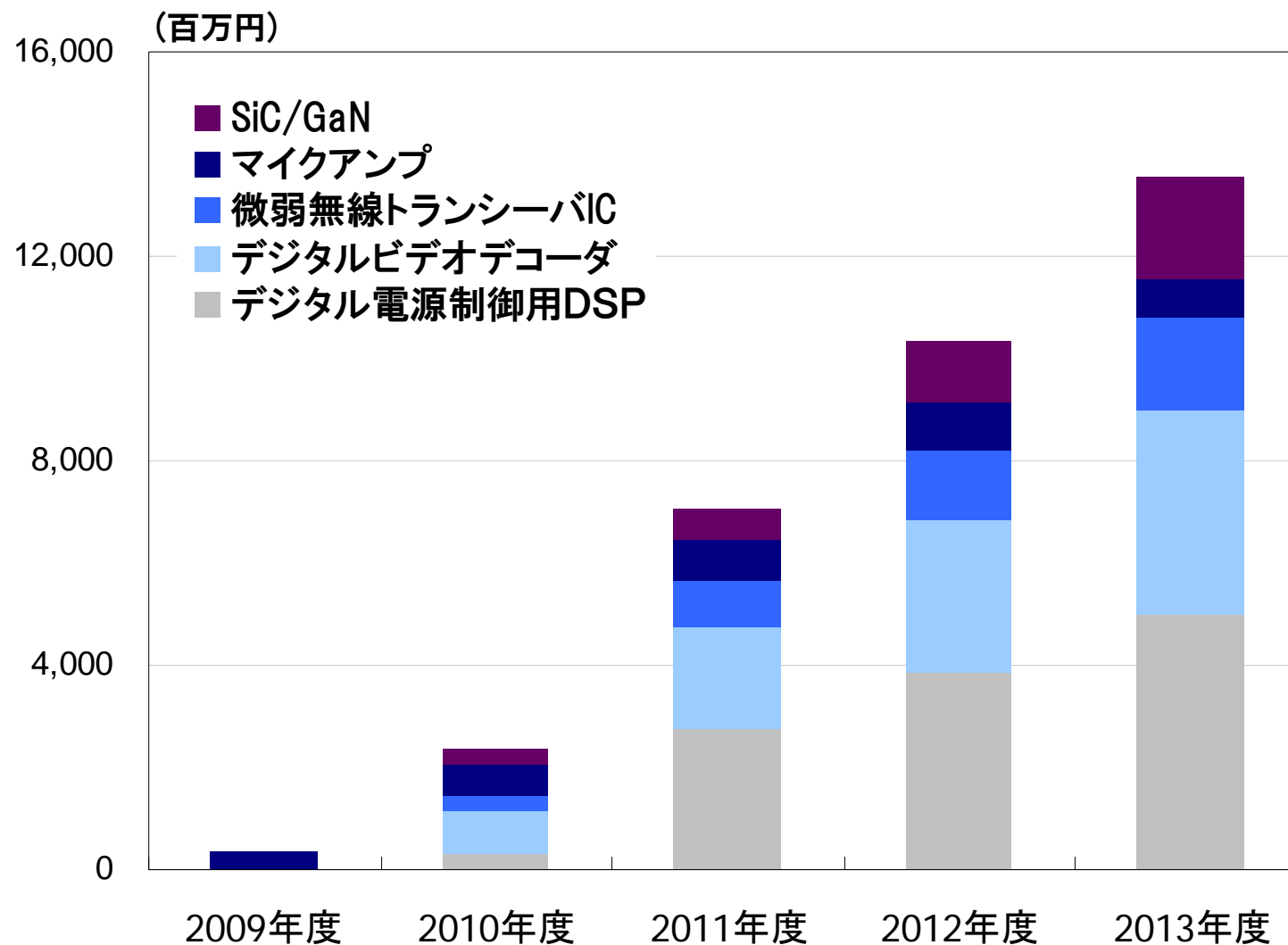
ワイドバンドギャップ半導体デバイスの開発

SiCデバイス	GaNデバイス
<ul style="list-style-type: none">• 開発・実用化フェーズの加速へ！• 当社独自構造による、 大電力、高耐圧、高周波デバイスが強み	
<ul style="list-style-type: none">• SBD開発強化 高抵抗ガードリングで逆耐圧600V以上の実現 preliminaryカタログを 特定顧客に配布	<ul style="list-style-type: none">• 電力用インバータを狙い 某電力会社との共同開 発を展開中• 絶縁ゲート高耐圧、高周波デバイスを開発中
<ul style="list-style-type: none">• 2013年頃には20億円程度の売上を狙う	

新デバイスの研究開発(6)



開発案件の販売見込額合計（計画）



ICテスト工程の短TAT*化

- ・九州の子会社の活用

ICパッケージの製造原価低減

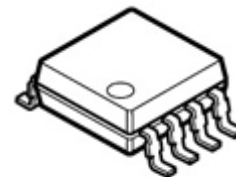
- ・タイの子会社への製造移管の促進

*TAT(=Turn-around time):

サンプリング、評価、プロセスへのフィードバックという一連の工程のループに必要な時間。短TAT化は、開発時間短縮実現のために、フィードバックループの時間を短縮することです。

- ・タイNJRでのVSP／TVSP*パッケージの生産
原価低減による利益確保

佐賀エレクトロニクスからタイNJRへ生産設備移管
(2010年3月完了予定)
生産能力 4百万個／月



VSP/TVSPパッケージ

*VSP : Very Small Package
TVSP : Thin Very Small Package

VI. 品質経営、環境経営、 その他について

品質経営



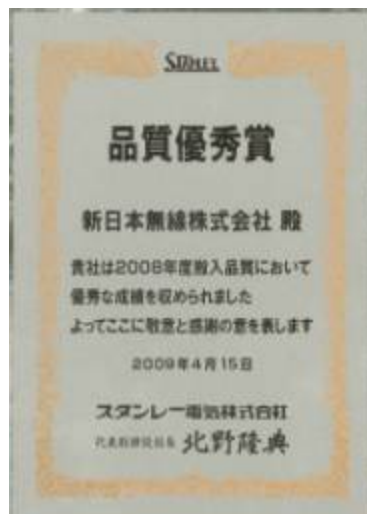
トヨタ自動車(株)広瀬工場様より 2年連続品質優秀賞を受賞 (2009年4月)

<トヨタ自動車(株)様より>



当社オペアンプ、電源用ICが対象で、2008年度納入製品の不良がゼロであったことが評価された

<スタンレー電気(株)様より>



スタンレー電気(株)様より 品質優秀賞を受賞(2009年4月)

当社車載用半導体製品で、2008年度納入製品の品質が評価された

- ・ 海外も含めグループ企業へ展開
- ・ 環境配慮型製品の開発促進
 - 半導体パッケージの鉛フリー（完了）
 - 半導体パッケージのハロゲンフリー
(2009年度中完了)
 - CdSセル代替シリコン照度センサ
 - パワーセーブ型各種IC
- ・ 当社独自の環境月間活動
- ・ 部材、設備のグリーン調達

企業理念と企業像



新日本無線

私たちの使命

Corporate Mission

社会の期待と顧客の期待の適合における
中心的役割を果たすことによって
健全な社会成長の一助となる

独創的「マイクロエレクトロニクスとマイクロウェーブ」技術を軸とした
最適部品の提供を通してコーポレートミッションを実現する

私たちの未来

Our Vision 2017

新日本無線のチャレンジ —— 2017年の企業像

- アナログIC事業、デジタルIC事業、化合物半導体事業
マイクロ波製品事業それぞれが
世界に通用するブランドとして確立しています
- 躍動感のある若々しい会社とイメージされています

革新
業界トップクラスの
統合的 R&D体制による
ご満足を実現しています

株主
企業の社会的責任の
履行による
ご満足を実現しています

取引先
一歩の即応性であることによる
ご満足を実現しています

従業員
成長の機会につながる
高いモチベーションによる
ご満足を実現しています

地域社会
地域の活性化につながる
多面的活動による
ご満足を実現しています

本資料ご使用に当たり



- この資料に記載されている業績予想数値は、現時点で入手可能な情報をもとにした当社における推測・予測に基づくものであり、確約や保証を与えるものではありません。実際の業績は、様々な要因により、これらの予想数値とは大きく異なる場合があります。予めご承知の上、ご利用下さいますようお願い申し上げます。

本日は、ご清聴ありがとうございました。

新日本無線株式会社